

プログラム 1日目 6月13日(土)

第1会場 <大会議室>

開会式

8:50-9:00

シンポジウム 1

9:00-10:30

「治療後のより良い生活再建を目指して」

座長：櫻井 卓郎 (国立がん研究センター中央病院 リハビリテーション室)
谷 賢哉 (NTT東日本関東病院 リハビリテーション医療部)

SY1-1 治療後のより良い生活再建を目指して

谷 賢哉

NTT東日本関東病院 リハビリテーション医療部

SY1-2 AYA世代がん患者の“眠れない夜”をどう捉えるか—生活を整えるという視点—

白石 恵子

九州がんセンター サイコオンコロジー科

SY1-3 AYA世代がん患者に対する栄養支援の実践と課題

○榎田 滋穂¹⁾、斎野 容子¹⁾、守屋 直紀¹⁾、高木 久美¹⁾、中屋 恵梨香¹⁾、岡村 明彦^{1,2)}、
片岡 明美^{1,3)}

1) がん研究会有明病院 栄養管理部、2) がん研究会有明病院 食道外科、3) がん研究会有明病院 乳腺外科

SY1-4 AYA世代の“動ける”を取り戻す運動支援 —外来から始まる安全で続けられる運動への伴走

五木田 茶舞

埼玉県立がんセンター 整形外科

教育講演 1

10:40-11:20

座長：多田 雄真 (大阪国際がんセンター 血液内科・AYA世代サポートチーム)

「AYA世代の倫理的ジレンマ—日常臨床の“迷い”にどう向き合うか—」

柳井 優子

国立がん研究センター中央病院 精神腫瘍科

座長：永井 功造 (愛媛県立中央病院 小児科)

多和田 奈津子 (一般社団法人グループ・ネクサス・ジャパン / 若年がん患者会ローズマリー)

「女性のAYA世代がん経験者の孤立・孤独感にとことん向き合うピアサポート活動
～オレンジブロッサムCafé・オレンジツリープロジェクト～」

○中野 季里子、植木 朋子、矢後 綾子、小濱 京子、河村 裕美

NPO法人オレンジティ

パネルディスカッション 1

13:10-14:30

「性の多様性、LGBTQとがんについて考える」

座長：富岡 晶子 (千葉大学大学院看護学研究院)

桜井 なおみ (一般社団法人CSRプロジェクト)

PD1-1 AYA×LGBTQにおけるがん診療の構造的課題：医療の前提を問い直す

坂井 雄貴

一般社団法人にじいろドクターズ

PD1-2 LGBTQ+とがん

小野 春

NPO法人にじいろかぞく

PD1-3 がんとLGBTQにかかわるソーシャルワーカーの視点と支援

小嶋 道子

がん・感染症センター都立駒込病院 患者・地域サポートセンター 患者支援グループ

シンポジウム 2

14:40-16:10

腫瘍循環器学会合同企画

「AYA世代がんの患者さんが治療を受けた際に長期毒性の情報は
適切に理解していただいているか」

座長：志賀 太郎 (がん研究会有明病院 腫瘍循環器・循環器内科)

向井 幹夫 (大阪がん循環器病予防センター 循環器病検診部)

SY2-1 造血幹細胞移植における心血管合併症と管理戦略

郡司 匡弘

東京慈恵会医科大学 腫瘍・血液内科

SY2-2 放射線化学療法における晩期心血管毒性

塩山 渉

滋賀医科大学 循環器内科

SY2-3 小児がん診療医からの長期毒性に関する情報提供について

湯坐 有希

東京都立小児総合医療センター 血液・腫瘍科

SY2-4 がん専門病院における小児・AYA世代患者への移行期支援の取り組み

○中村 美穂、片岡 明美、高野 利実、植弘 奈津恵、志賀 太郎、仲野 兼司、早坂 紀子、阿部 三千代、鴨川 郁子、柿澤 祐子、濱口 恵子、伴 修平、今井 美奈子、釣 江利

公益財団法人 がん研究会 有明病院

第2会場 <セミナールルームA・B>

ランチョンセミナー 1

12:00-13:00

「Onco-Cardiology Imaging ～腫瘍循環器の基礎と画像～」

司会：田中 宣暁 (桜橋渡辺未来医療病院)

共催：キヤノフメディカルシステムズ株式会社

LS1-1 がん治療中の心臓をどう守るか ～心エコー図検査の重要性～

田中 秀和

近畿大学医学部 循環器内科

LS1-2 がん治療関連心筋障害の早期発見と画像評価

真鍋 徳子

自治医科大学附属さいたま医療センター 放射線科

国際連携委員会企画

13:10-14:00

座長：松本 公一 (国立研究開発法人 国立成育医療研究センター)

「Current Landscape & future directions of AYA cancer care: Insights from the UK BRIGHTLIGHT studies」

○Louise Soanes¹⁾, Rachel Taylor²⁾, Lorna Fern³⁾

1) Teenage Cancer Trust, UK, 2) University College London,

3) Teenage and Young Adult Cancers, University College London Hospitals / CCLG Teenage and Young Adult (TYA) Cancer Research Centre

座長：一戸辰夫 (広島大学病院 血液内科)

MO1-1 AYAがん患者における終末期在宅医療導入と死亡場所の実態および関連因子

○清水 麻理子¹⁾、小島 勇貴²⁾、山中 太郎²⁾、清水 理恵子¹⁾、堀口 沙希³⁾、稲村 直子³⁾、宇田川 涼子⁴⁾、大村 鷹希⁵⁾、内田 恵理子⁶⁾、鈴木 達也⁷⁾、石木 寛人⁸⁾、里見 絵理子^{1,8)}

1) 国立がん研究センター 中央病院 がん相談支援センター、2) 国立がん研究センター 中央病院 腫瘍内科、
3) 国立がん研究センター 中央病院 看護部、4) 国立がん研究センター 中央病院 薬剤部、
5) 国立がん研究センター 中央病院 脳脊髄腫瘍科、6) 国立がん研究センター 中央病院 小児腫瘍科、
7) 国立がん研究センター 中央病院 血液腫瘍科、8) 国立がん研究センター 中央病院 緩和医療科

MO1-2 看護師のAYA支援への自信とスクリーニングシート活用に関連

○堀口 沙希¹⁾、飯田 郁実¹⁾、杉澤 亜紀子¹⁾、稲村 直子¹⁾、森 文子¹⁾、宇田川 涼子²⁾、柳井 優子³⁾、大木 麻実⁴⁾、齋藤 亜由美⁵⁾、小島 勇貴⁵⁾、石木 寛人⁶⁾

1) 国立がん研究センター中央病院 看護部、2) 国立がん研究センター中央病院 薬剤部、
3) 国立がん研究センター中央病院 精神腫瘍科、4) 国立がん研究センター中央病院 リハビリテーション室、
5) 国立がん研究センター中央病院 腫瘍内科、6) 国立がん研究センター中央病院 緩和医療科

**MO1-3 患者と家族の笑顔撮影がもたらす笑顔表出の変化：
BlendShape指標に用いた定量的評価の可能性の検討**

○大須賀 美恵子^{1,2)}、西尾 菜美³⁾、多田 雄真⁴⁾、土海 永³⁾、竹内 大樹⁵⁾

1) 株式会社 ウエルネスラボ、2) 大阪工業大学 ロボティクス&デザイン工学部、3) CANCER PHOTO+、
4) 大阪国際がんセンター AYAサポートチーム、5) 産業医科大学 産業保健学部

MO1-4 高校在学中にがん治療を経験した若年者に対する、医療機関と外部支援機関の連携によるキャリア形成支援の有用性

○服部 文¹⁾、田畑 真規子²⁾、牛山 喜久恵²⁾

1) (一社) 仕事と治療の両立支援ネットブリッジ、
2) 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 がん相談支援センター

**MO1-5 AYA世代がんサポート研修会における研修構成の刷新と効果の検討
—AYA研教育研修委員会 サポート研修WGの活動報告—**

○平田 陽香^{1,2)}、遠山 義人^{1,3)}、荒木 もも子^{1,4)}、宇田川 涼子^{1,5)}、大谷 直輝^{1,6)}、小澤 美和^{1,7)}、安宅 大輝^{1,8)}、樋口 明子^{1,9)}、浦川 優作^{1,10)}、齋藤 太樹^{1,11)}、清水 千佳子^{1,9)}

1) AYA研教育研修委員会 サポート研修WG、2) 北里大学大学院 看護学研究科 博士後期課程、
3) 日本赤十字看護大学 看護学部、4) 島根大学医学部附属病院 臨床遺伝・ゲノム医療センター、
5) 国立がん研究センター 中央病院、6) 大阪国際がんセンター、7) 聖路加国際病院 小児科、
8) 東邦大学医療センター 大森病院、9) 国立健康危機管理研究機構国立国際医療センター 乳腺・腫瘍内科、
10) 藤田医科大学 先端ゲノム医療科、11) 国際医療福祉大学 市川総合病院

**MO1-6 根治困難な高校生がん患者が大学受験に臨むことを支えた多職種実践
—StageIV横紋筋肉腫の2例—**

○加藤 香恵¹⁾、内田 恵理子¹⁾、杉澤 亜紀子²⁾、吉本 有希²⁾、小島 勇貴³⁾、荒川 歩¹⁾

1) 国立がん研究センター中央病院 小児腫瘍科、2) 国立がん研究センター中央病院 看護部 12A病棟、
3) 国立がん研究センター中央病院 腫瘍内科

座長：五木田 茶舞 (埼玉県立がんセンター 整形外科)

**MO2-1 がんに関わる医療者と写真家が連携した写真撮影会の有効性の探索的検討
—AYA世代がんサバイバーの心理的变化に着目して—**

○川北 悠貴¹⁾、松井 友美¹⁾、西尾 菜美²⁾、多田 雄真¹⁾、北坂 美津子¹⁾、小泉 素子¹⁾

1) 地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター、2) CANCER PHOTO+

MO2-2 下肢に骨肉腫を罹患したAYA世代のサバイバーの就労体験

○勝本 祥子^{1,2)}、岡光 基子^{2,3)}、矢郷 哲志²⁾、岩田 慎太郎⁴⁾、阿江 啓介⁵⁾、早川 景子⁵⁾、
五木田 茶舞⁶⁾、米本 司⁷⁾

1) 東京医療保健大学 千葉看護学部、2) 東京科学大学大学院 保健衛生学研究科、3) 宇部フロンティア大学 看護学部、
4) 国立がん研究センター中央病院 骨軟部腫瘍・リハビリテーション科、5) がん研有明病院 整形外科、
6) 埼玉県立がんセンター 整形外科、7) 千葉県がんセンター 整形外科

**MO2-3 AYA世代がん患者に対するアプリを用いた苦痛スクリーニングと多職種介入の有効性を
評価する多施設共同ランダム化比較試験**

○齋藤 亜由美¹⁾、小島 勇貴¹⁾、清水 千佳子²⁾、口羽 文^{3,12)}、多田 雄真⁴⁾、石田 悠志⁵⁾、
塚原 宏一⁶⁾、堀口 沙希⁷⁾、稲村 直子⁷⁾、宇田川 涼子⁸⁾、大木 麻実¹⁰⁾、石木 寛人¹¹⁾

1) 国立がん研究センター中央病院 腫瘍内科、2) 国立国際医療センター 乳腺・腫瘍内科、
3) 国立がん研究センター 研究支援センター 生物統計部、4) 大阪国際がんセンター 血液内科、
5) 岡山大学病院 小児血液・腫瘍科、6) 岡山大学病院 小児科、7) 国立がん研究センター中央病院 看護部、
8) 国立がん研究センター中央病院 薬剤部、9) 国立がん研究センター中央病院 精神腫瘍科、
10) 国立がん研究センター中央病院 リハビリテーション室、11) 国立がん研究センター中央病院 緩和医療科、
12) 帝京大学大学院 公衆衛生学研究科

MO2-4 抗がん治療中のAYA世代がん患者におけるつらさの継時的変化：単施設前向き観察研究

○柳井 優子¹⁾、西川 英里²⁾、斎藤 亜由美³⁾、小島 勇貴³⁾、堀口 沙希⁴⁾、大木 麻実⁵⁾、
小川 祐子¹⁾、稲村 直子⁴⁾、杉澤 亜紀子⁴⁾、宇田川 涼子⁶⁾、石木 寛人⁷⁾

1) 国立がん研究センター中央病院 精神腫瘍科、2) 東京都立小児総合医療センター 緩和ケア科、
3) 国立がん研究センター中央病院 腫瘍内科、4) 国立がん研究センター中央病院 看護部、
5) 国立がん研究センター中央病院 リハビリテーション室、6) 国立がん研究センター中央病院 薬剤部、
7) 国立がん研究センター中央病院 緩和医療科

**MO2-5 外来化学療法室におけるAYAカンファレンスおよび受け持ち看護師制度導入による
スタッフの意識と実践の変化**

○岩崎 知子、土屋 暁美、永石 恵美、松尾 久美

長崎大学病院 看護部

座長：河田 純一（東京大学医科学研究所 ヒトゲノム解析センター公共政策研究分野）

MO3-1 AYA世代希少がん患者における相談支援の最適化を考える ーデジタルネイティブ世代の電話相談利用状況報告ー

○松原 昌代、鈴木 容子、高倉 直世、岩田 慎太郎

国立がん研究センター中央病院

MO3-2 AYA世代がん患者の経済毒性とリスク因子

○西村 瑠美¹⁾、石木 寛人¹⁾、池田 千遥²⁾、鯉沼 卓真²⁾、川口 崇³⁾、鈴木 達也⁴⁾、後藤 励⁵⁾、吉岡 貴史^{6,7)}

1) 国立がん研究センター中央病院 緩和医療科、2) 東京薬科大学 薬学部 薬学実務実習教育センター、

3) 東京薬科大学 臨床評価学教室、4) 国立がん研究センター中央病院 血液腫瘍科、

5) 慶應義塾大学 大学院 経営管理研究科、6) 慶應義塾大学 医学部衛生学公衆衛生学教室、

7) 昭和医科大学 臨床疫学研究所

MO3-3 「AYA世代のがんとくらしサポート」体験談にみる医療者との関係性の質的分析

○丸山 智恵子¹⁾、山田 裕里恵¹⁾、劉 明シン¹⁾、岩満 優美²⁾、八巻 知香子¹⁾

1) 国立がん研究センター がん対策研究所 がん情報提供部、2) 北里大学大学院 医療系研究科

MO3-4 AYA世代がん患者の生殖に関する相談内容の実態と課題 ーリプロ支援チームの相談実績からー

○高橋 佳子¹⁾、齋藤 美和子¹⁾、稲村 直子¹⁾、内田 恵理子²⁾

1) 国立がん研究センター中央病院 看護部、2) 国立がん研究センター中央病院 小児腫瘍科

MO3-5 A二次医療圏におけるAYA世代がん患者の妊孕性温存に関する情報提供の実態調査

○宮本 美和¹⁾、石田 享相¹⁾、小杉 智¹⁾、西田 勉¹⁾、斉藤 百恵¹⁾、石川 一美²⁾、岩上 雄一³⁾、兼古 望⁴⁾、十河 千愛⁵⁾、辻 朋子⁶⁾、林 浩美⁷⁾、古澤 祐樹⁸⁾

1) 市立豊中病院、2) 大阪大学医学部附属病院、3) 大阪府済生会千里病院、4) 大阪府済生会吹田病院、

5) 箕面市立病院、6) 大阪刀根山医療センター、7) 市立池田病院、8) 市立吹田市民病院

座長：向井 幹夫（大阪がん循環器病予防センター 循環器病検診部）

MO4-1 小児・AYA世代がん長期生存者の晩期心毒性の実態と患者参加型フォロー体制の構築

○川村 眞智子^{1,2)}、飯崎 淑恵²⁾、小林 泰文²⁾、柵木 信男²⁾、浜野 しずか²⁾、新井 康祐²⁾、工藤 昌尚²⁾、関口 康宣²⁾、大内 輝³⁾、岡和田 智美³⁾、松居 一悠⁴⁾、岡 亨⁴⁾

1) 埼玉県立がんセンター 臨床検査科、2) 埼玉県立がんセンター 血液内科、

3) 埼玉県立がんセンター 検査技術部、4) 埼玉県立がんセンター 総合内科

MO4-2 小児・AYA世代の悪性骨腫瘍サバイバーにおけるスポーツ復帰因子の検討

○大木 麻実¹⁾、福島 俊¹⁾、米本 司²⁾、根津 悠³⁾、中山 ロバート⁴⁾、小林 寛⁵⁾、清谷 知賀子⁶⁾、松本 公一⁶⁾、尾崎 修平¹⁾、川井 章¹⁾、岩田 慎太郎¹⁾

1) 国立がん研究センター中央病院 リハビリテーション室、2) 千葉県がんセンター 整形外科、

3) 神奈川県立がんセンター 骨軟部腫瘍外科、4) 慶應義塾大学病院 整形外科、

5) 東京大学医学部附属病院 整形外科・脊椎外科、6) 国立成育医療研究センター 小児がんセンター 血液腫瘍科

MO4-3 大学生による「乳がん予防情報」および「AYA世代」についての認知度調査

○野口 晴架¹⁾、寺内 恵美子³⁾、佐々木 実莉¹⁾、根岸 凜奈¹⁾、溝口 希菜¹⁾、神藤 優梨子¹⁾、駒村 美幸²⁾、宮本 真衣²⁾、小野 美侑²⁾、小川 陽菜¹⁾、大橋 みつ季¹⁾、鈴木 礼子³⁾

1) 日本女子大学 家政学部 食物学科、2) 日本女子大学大学院 家政学研究科 食物・栄養学専攻、
3) 日本女子大学 食科学部 栄養学科

MO4-4 小児・AYA世代がん治療中の高校生の学習効果と医療機関・教育機関の連携等に関する調査研究

○村山 拓¹⁾、黒澤 南²⁾、玉木 秋樹³⁾

1) 東京学芸大学 教育学部 特別支援科学講座、2) 東京都社会福祉協議会、3) 東京学芸大学附属特別支援学校

MO4-5 高校生がん患者・サバイバーへの学習支援の実態と課題に関する文献検討

○白石 茉莉奈、杉本 なおみ

慶應義塾大学 看護医療学部 看護学科

ミニオーラル5 「活動報告1」

17:10-17:50

座長：桜井 なおみ (一般社団法人CSRプロジェクト)

MO5-1 院内リソースを活かしたチームで支えるAYA世代のケア ～相模原協同病院における取り組み～

○鈴木 有希子¹⁾、臼井 美和¹⁾、波多江 優³⁾、縄井 一美⁴⁾、船津 健太郎²⁾

1) JA神奈川厚生連 相模原協同病院 看護部 外来、2) JA神奈川厚生連 相模原協同病院 診療部、
3) JA神奈川厚生連 相模原協同病院 患者総合サポートセンター、4) JA神奈川厚生連 相模原協同病院 医療技術部

MO5-2 当院のAYAサポートチームの現状と今後在り方に関する一考察

○松尾 由佳¹⁾、白石 恵子²⁾、進藤 史代³⁾、富永 裕美⁴⁾、奥村 祐太⁵⁾、崔 日承⁶⁾、中山 秀樹⁷⁾、野口 磨依子⁷⁾

1) 九州がんセンター がん相談支援センター、2) 九州がんセンター サイコオンコロジー科、
3) 九州がんセンター リハビリテーション科、4) 九州がんセンター 看護部、5) 九州がんセンター 消化管腫瘍内科、
6) 九州がんセンター 血液・細胞治療科、7) 九州がんセンター 小児・思春期腫瘍科

MO5-3 AYA世代がん患者・家族が抱える苦悩や困難感をチームでささえる取り組み ～初年度のAYA世代がんサポートチーム活動を振り返って～

○内重 真由美¹⁾、安達 美樹²⁾

1) 熊本大学病院 がん相談支援センター、2) 熊本大学病院 緩和ケアセンター

MO5-4 AYAスクリーニングの定着に向けた取り組み ～管理者の立場から～

○安達 美樹¹⁾、内重 真由美²⁾

1) 熊本大学病院 緩和ケアセンター、2) 熊本大学病院 がん相談支援センター

座長：小林 幹紘 (武蔵野大学 看護学部)

MO6-1 未成年の子どもがいるがん患者・家族支援研修におけるファシリテーター養成活動報告

○飯田 郁実¹⁾、小嶋 リベカ²⁾、小川 祐子³⁾、近藤 麗子¹⁾、柳井 優子³⁾、茅野 綾子³⁾、
里見 絵理子²⁾

1) 国立がん研究センター中央病院 看護部、2) 国立がん研究センター中央病院 緩和医療科、
3) 国立がん研究センター中央病院 精神腫瘍科

MO6-2 AYA世代支援チームの活動と課題

～患者サロン“AYA世代のつどい”開催までの道のり～

○有馬 順子¹⁾、稲垣 裕一郎²⁾

1) JA愛知厚生連安城更生病院 看護部、2) JA愛知厚生連安城更生病院 血液腫瘍内科

MO6-3 就労経験のないAYA世代のがんサバイバーを対象とした就労支援とその成果

○田畑 真規子¹⁾、牛山 喜久恵¹⁾、安藤 智子²⁾、服部 文³⁾

1) 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 がん相談支援センター、
2) 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 産婦人科、3) 一般社団法人 仕事と治療の両立支援ネットーブリッジ

MO6-4 AYA世代がん経験者を対象とした多分野連携によるダンスイベント開催の実践報告 —助成事業における4団体協働の試み—

○松原 昌代¹⁾、小園 香奈子¹⁾、水橋 朱音²⁾、岸田 徹³⁾、砂川 未夏⁴⁾、橋本 久美子⁵⁾、
鈴木 美穂¹⁾、西垣 雅代⁶⁾、坂井 満¹⁾、佐々木 好⁴⁾、原 洋子⁴⁾、木村 晶子¹⁾

1) 認定特定非営利活動法人マギーズ東京、2) 若年性がん患者団体STAND UP!!、3) 特定非営利活動法人がんノート、
4) 特定非営利活動法人日本キャリア開発協会、5) 聖路加国際病院、6) 公益財団法人新日本フィルハーモニー交響楽団

MO6-5 里親養子縁組支援の情報提供冊子「家族がふえたよ」発行から8年 ～家族のかたちを問い続けた若年患者たちのもう一つの物語

○植木 朋子、中野 季里子、矢後 綾子、内山 由紀、小濱 京子、河村 裕美

認定NPO法人 オレンジティ

座長：安宅 大輝 (東邦大学医療センター大森病院 看護部)

MO7-1 PT・OT・STの同時介入により車椅子でのADL再獲得と自宅退院に至ったAYA世代 がん患者の一例

○阿部 里沙¹⁾、下井 辰徳²⁾、櫻井 卓郎¹⁾、辻 知恵子¹⁾、下田 祥子³⁾、近藤 麗子³⁾、
数本 麻紗子⁴⁾、柳井 優子⁵⁾、尾崎 修平^{1,6)}、川井 章⁶⁾

1) 国立がん研究センター中央病院 リハビリテーション室、2) 国立がん研究センター中央病院 腫瘍内科、
3) 国立がん研究センター中央病院 看護部、4) 国立がん研究センター中央病院 がん相談支援センター、
5) 国立がん研究センター中央病院 精神腫瘍科、6) 国立がん研究センター中央病院 骨軟部腫瘍・リハビリテーション科

MO7-2 医療者との相互関係に基づいて療法継続できたAYA世代患者の体験 —多職種連携による患者理解と生活背景を考慮した個別的支援—

○墨 舞、濱田 龍治、多田 雄真、小山 恭子

大阪国際がんセンター

**MO7-3 闘病中に「応援できる存在」として想起された同疾患経験アスリート：
AYA世代がん患者3症例からの探索的報告**

○櫻井 卓郎¹⁾、茅野 綾子²⁾、成見 祐輔³⁾、西井 光³⁾、平川 経晃⁴⁾、市川 兼之¹⁾、桃井 美緒³⁾、
荒木 優香³⁾、有木 まどか³⁾、大野 誠⁵⁾、尾崎 修平^{1,6)}、川井 章⁶⁾

1) 国立がん研究センター中央病院 リハビリテーション室、2) 国立がん研究センター中央病院 精神腫瘍科、
3) 国立がん研究センター中央病院 看護部、4) 国立がん研究センター中央病院 造血幹細胞移植科、
5) 国立がん研究センター中央病院 脳脊髄腫瘍科、6) 国立がん研究センター中央病院 骨軟部腫瘍・リハビリテーション科

**MO7-4 医療職を志望した2名の小児がん経験者のライフストーリー
— 一周年や社会からの影響、アイデンティティの探求に焦点を当てて—**

○奥村 哲朗¹⁾、服部 文²⁾

1) 日本福祉大学 教育・心理学部 心理学科、2) 一般社団法人 仕事と治療の両立支援ネット・ブリッジ

MO7-5 あるAYA世代がん患者と夫が辿った軌跡

○武田 千津¹⁾、品川 育代²⁾、山下 広恵¹⁾、古手川 洋志³⁾

1) 愛媛県立中央病院 看護部、2) 愛媛県立中央病院 ペインクリニック科、3) 愛媛県立中央病院 消化器外科

ミニオーラル 8 「事例報告 2」

17:10-17:50

座長：白石 恵子 (九州がんセンター サイコオンコロジー科)

MO8-1 演題取り下げ

**MO8-2 治療を拒否したAYA世代乳癌患者に対する児童相談所との連携による育児支援と
意思決定支援**

○末松 真由子、宮崎 一恵、畑地 登志子、佐川 庸、松岡 欣也

愛媛県立中央病院 乳腺・内分泌外科

MO8-3 ペプロウの看護理論を用いた予後不良な若年成人期の患者に対する意思決定支援の考察

○有木 まどか¹⁾、石毛 奈津子¹⁾、中坂 和実¹⁾、鈴木 恭子¹⁾、櫻井 卓郎³⁾、沖田 祐介³⁾、
松岡 藍子³⁾、大村 鷹希²⁾、成田 善孝²⁾

1) 国立がん研究センター中央病院 看護部、2) 国立がん研究センター中央病院 脳脊髄腫瘍科、
3) 国立がん研究センター中央病院 リハビリテーション室

**MO8-4 予後不良の告知を受けた中学生男子が望んだ自己決定と尊厳
—TSURUMIこどもホスピスにおける軟部組織腫瘍患児との関わりを通して—**

○川戸 大智

公益社団法人こどものホスピスプロジェクト TSURUMIこどもホスピス

**MO8-5 感情表出の少ないAYA世代がん患者への意思決定支援
—院内卒業式の挙行を契機とした自宅退院へのプロセス—**

○古賀 麻理沙¹⁾、藤田 菜央¹⁾、小島 結衣¹⁾、下田 祥子¹⁾、堀口 沙希¹⁾、小林 久見子¹⁾、
平田 京子¹⁾、諸橋 有加¹⁾、下井 辰徳²⁾

1) 国立がん研究センター中央病院 看護部、2) 国立がん研究センター中央病院 腫瘍内科

プログラム 第2日目 6月14日(日)

第1会場 <大会議室>

パネルディスカッション 2

9:00-10:20

「AからYAへ「10代の声を聴く」」

座長：小林 幹紘 (武蔵野大学 看護学部)
楠木 重範 (遊育園こどもクリニック 小児科)

PD2-1 当事者と支援者を分けてきたものは何か ——小児・AYA期にがんを経験した一人として、両側から見えてきたこと

齊藤 太樹
国際医療福祉大学市川総合病院 がん相談支援センター (患者支援センター内)

PD2-2 就学就労における課題と支援

浦尻 一乃
国立がん研究センター 臨床検査科

PD2-3 がんの当事者が創りたい社会

土井 颯大
NPO法人おおさかレモネードスタンドプロジェクトPilina

スポンサードセミナー

10:30-11:20

座長：杉本 公平 (獨協医科大学埼玉医療センター リプロダクションセンター / 遺伝カウンセリングセンター)
共催：株式会社アステック

「生殖医療の動向」

高井 泰
埼玉医科大学総合医療センター 産婦人科

教育講演 2

11:30-12:10

座長：河田 純一 (東京大学医科学研究所 ヒトゲノム解析センター公共政策研究分野)

「AYA世代がん患者さんの経済毒性」

本多 和典
愛知県がんセンター 薬物療法部

「より良い長期健康管理体制の確立を目指して」

座長：菅家 智史 (福島県立医科大学 医学部 総合内科・総合診療学講座)

清水 千佳子 (国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 乳腺・腫瘍内科)

SY3-1 小児がんサバイバーの成人医療移行準備の実態と受け入れ経験がある成人診療科の意見調査

○前田 尚子¹⁾、小澤 美和²⁾、清水 千佳子³⁾

1) 国立病院機構 名古屋医療センター 小児科、2) 聖路加国際病院 小児科、

3) 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 乳腺・腫瘍内科

SY3-2 小児がん経験者の成人医療への移行における好事例

小澤 美和

聖路加国際病院

SY3-3 小児・AYAがん経験者の長期健康管理地域連携のモデルの開発

菅家 智史

福島県立医科大学 医学部 総合内科・総合診療学講座

SY3-4 小児がん経験者の移行準備の実態と成人期における健康理解支援の必要性—Web調査からの検討—

樋口 明子

国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 乳腺・腫瘍内科

SY3-5 小児・AYA世代のがんの長期的健康管理—多診療科・多職種連携で支えるシステムの構築を目指して

清水 千佳子

国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 乳腺・腫瘍内科

指定コメンテーター

向井 幹夫

大阪がん循環器病予防センター 循環器病検診部

「AYA世代の実態調査から10年 —これまでの取り組みとAYA研のこれから」

座長：清水 千佳子 (国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 乳腺・腫瘍内科)
鈴木 直 (聖マリアンナ医科大学 産婦人科学)

共催：令和8年度厚労科研 (がん対策推進総合研究事業)
「小児・AYA世代がん患者の長期健康管理における地域連携の実装と
キャリア形成の支援に資するプログラムの構築」班

基調講演

松浦 朋美 (厚生労働省健康・生活衛生局)

清水 千佳子 (国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 乳腺・腫瘍内科)

パネルディスカッション

堀部 敬三 (国立病院機構名古屋医療センター 小児科)

鈴木 直 (聖マリアンナ医科大学 産婦人科学)

河田 純一 (東京大学医科学研究所 ヒトゲノム解析センター公共政策研究分野)

富岡 晶子 (千葉大学大学院看護学研究院)

一戸 辰夫 (広島大学病院 血液内科)

楠木 重範 (遊育園こどもクリニック 小児科)

ランチョンセミナー 2

12:30-13:30

座長：渡邊 知映 (昭和医科大学 保健医療学部 看護学科)

共催：中外製薬株式会社

LS2-1 血液がん患者の治療と仕事の両立支援

黒澤 彩子

伊那中央病院 腫瘍内科

シンポジウム 4

13:40-15:10

「AYA世代とのコミュニケーションを考える」

座長：平山 貴敏 (こころサポートクリニック 心療内科・精神科・腫瘍精神科)

稲村 直子 (国立がん研究センター中央病院 患者サポートセンター)

SY4-1 なぜAYA世代とのコミュニケーションは難しいのか？

—“関わりにくさ”の背景を整理する—

平山 貴敏

こころサポートクリニック

SY4-2 からだを通したことばを聴く

榎場 美穂

静岡県立静岡がんセンター 緩和医療科

SY4-3 AYA世代の医療者が経験するMicroaggression

丸 光恵

淀川キリスト教病院

SY4-4 AYA世代のくらしを支援する —医療ソーシャルワーカーの立場から—

坂本 はと恵

国立研究開発法人国立がん研究センター東病院 サポートケアセンター

SY4-5 医療者とのコミュニケーション ～がん経験者の立場から～

岸田 徹

NPO法人がんノート